

神戈陵を渡る風

令和3年度 川辺高校 校長通信 第012号

令和3年6月25日(金)発行

6月も終盤。本当に梅雨明けが待ち遠しいですね。いよいよ来週から一学期の期末考査となります。川辺高校での学びの途中結果(学習到達度)を判断する定期考査です。万全の対策と準備を行い、試験に臨んで下さい。各自が目標とする出来を達成できるように期待していますよ。

6月14日 月曜日 学年朝礼
一年 是枝先生



勉強は好きですか？

- ①とても好き
- ②どちらかと言えば好き
- ③あまり好きでない
- ④嫌い

なぜ、学ばなきゃならないの？

この答えを、一人ひとりが考えてほしい。

家の人、友だち、先生と一緒に考えて欲しい
→討論するとよい

そのときは、自分の考えを言ってから、相手の考えを聞くことが大切

考えて・考えて・自分の答えを出しましょう。

2年 當房先生



はじめての「文化祭」どうだった？

- ・「文化」の対語は「自然」。
- ・「文化」とは人が作り出してきたもの。

人類史上、最新にして最高の「文化」レベルを私たちは生きている。しかし、私たちは、本当に古代の人々を能力的に上回っているのか疑問を感じる。スマホなどにあまりにも頼りきっていないか？今回の文化祭では、自分の頭で考え、仲間と協力しながら、自分たちの手でものを作り出すという、ともすれば忘れがちだった人間らしい文化的な営みのすばらしさや難しさを経験できたことと思う。今後の探究活動や進路学習に活かしてもらいたい。

3年 鮫島先生



文武両道とは？

→勉強もスポーツもがんばる(生徒イメージ)

文武両道＝文武両立 (1・2年生)

文武両道＝文武両同 (3年生)

①部活動で学んだものの考え方や物事の効率的な進め方を勉強に生かす。

②勉強を部活動と同じようにとらえ好きになる
文武両道は、部活を引退した後にこそ本領を発揮する。

勉強が嫌で単に部活に逃げていたのか？
部活動を勉強にも応用できると考えるか？

夏休みまでの1ヶ月の過ごし方が

あなたの「文武両道」への答えです

南九州市選挙管理委員会出前授業

6月17日(木曜日)

この日、南九州市明るい選挙推進協議会の海江田会長様と南九州市選挙管理委員会の辻書記長様をはじめ、8名のスタッフが来校されて、選挙啓発出前授業を開催しました。



今回、模擬県知事選を行いました。模擬立候補者の立ち会い演説のビデオを視聴し、本物と同じ投票用紙に自分で選んだ候補者名を記入して、本物の投票箱に投票しました。講話で、若い世代の人たちが投票に参加することで「自分たちの声を政治に届ける世の中が実現する」という言葉が印象的でした。

なにかを「する・しない」について

系井重里さんのエッセーを読んで

私は、なにかを「する・しない」について、「こうこういう理由で、それをしない」と熱心に言い訳(説明)をするときがあります。時には、私がそれを聞いている場合もあります。マーケティングに詳しい人が、「買わない人、興味のない人の意見を聞かなきゃ」とよく言っているのですが、そういうものなんだろうと思う反面、本当にそうなの?と感ずることもあります。

私は、ここ数年散歩(ウォーキング・散策)に励んでいます。もともと歩くことは嫌いではなかったのですが、それほど「いい、いい」と言うタイプではありません。日常生活で、わざわざ汗をかくことなどは、着替えや、こまめにシャワーを浴びなきゃいけないので、どちらかという面倒草がる方でした。わざわざ着替えをして、歩いて汗かかなくて「億劫だ!」と思っていました。でも10年ぐらい前の自分と比べると、どうやら、面倒草がっていないようです。どうい変化があったのかを考えると「面白くなかった → 面白くなった」、「嫌いだ → 好きになった」と変化したに尽きます。「いい」とか「好き」とか「面白い」とかに、出会ったのか出会ってないのか、そこが違っているだけです。ほかに、パソコン操作やクラリネット演奏にドライブ、更に美味しいものの食べ歩きなど、いくらでも「夢中になった理由」を語れるものがあります。しかし、改めて考えてみると、理由はどうでもいいのです。あるお店のベテランの売り子さんが、「こうだったら買うのに」と長々と教えてくれる人は、お話しすることに興味があるので、売るのはむしろかしいと言っておられました。買う買わないは論理の正しさでは決まらないものです。私は、「おもしろい」は、「天から降ってくる」ものと考えます。偶然や必然を装って突然やってくるものです。自分の散歩への気持ちの変化も、そうだと思います。(終わり)



先週から、校長室のテーブルには、グロキシニア(大岩桐草)の花が綺麗に咲いています。花言葉は「華やかな日々」「艶麗」で、7月10日の誕生花です。